

国内外のICT関連企業、県内企業等と連携・協力し、大学の専門性を活かして先端ICT技術の研究や実証を行います。また、アナリティクスや高度セキュリティ分野における次世代高度ICT人材を育成します。これらの研究成果や人材により、国際的に競争力のある新たなICT関連ビジネスモデルや新産業の創出をはかり、福島県の復興を支援します。さらには、国内及び海外へ技術や人材を輩出します。会津大学復興支援センターは、先端ICTにおけるグローバルレベルでの拠点化を目指します。

会津大学

〒965-8580 福島県会津若松市一箕町鶴賀

公立大学法人会津大学復興支援センター

Tel : 0242-37-2533



<http://www.u-aizu.ac.jp>

ケータイサイトへはこちら



交通アクセス

- 列車利用の場合**
 JR東北新幹線・東京駅より 約2時間40分
 上野駅経由・成田空港より 約3時間20分
 JR東北新幹線・仙台駅より 約1時間50分
 会津若松駅より(バスまたはタクシー) 約10分
- 高速道路利用の場合**
 東北自動車道下り・川口JCTより 約3時間20分
 東北自動車道上り・仙台ICより 約2時間
 磐越自動車道・三郷JCTより 約3時間50分
 磐越自動車道・新潟ICより 約1時間40分
 会津若松ICより(127+49) 約10分
- 福島空港利用の場合**
 福島空港より高速道利用 約1時間50分

会津大学 復興支援センター 基本計画

— ICTの拠点化による復興を目指して —



会津大学とは

会津大学は、1993年(平成5年)に開学した日本で初めてのコンピュータ理工学専門の大学です。コンピュータ理工学は、応用性が広く、将来性が高く、知的生産技術の中核となる最先端の学問で、会津大学には国内外からトップレベルの研究者が集まっています。

建学の精神として掲げる「to Advance knowledge for Humanity」(人類の平和と繁栄に貢献する発明と発見)の実現を目指し、世界的視野で質の高い教育・研究を実践しています。小惑星探査機「はやぶさ」にも会津大学が培った技術が使われました。



復興支援センター設立の経緯

東日本大震災等からの復興に向け、会津大学はこれまで様々な取り組みを行ってまいりましたが、このほど、「福島県復興計画」をふまえ、IT専門の大学としての特徴を活かした復興支援活動を展開するための新しい組織「会

津大学復興支援センター」を設立しました。

この「基本計画」は、復興支援活動の指針となるものであり、福島県の復興に向け、これからも、会津大学は真摯に取り組んでいきます。



ふくしまからはじめよう。

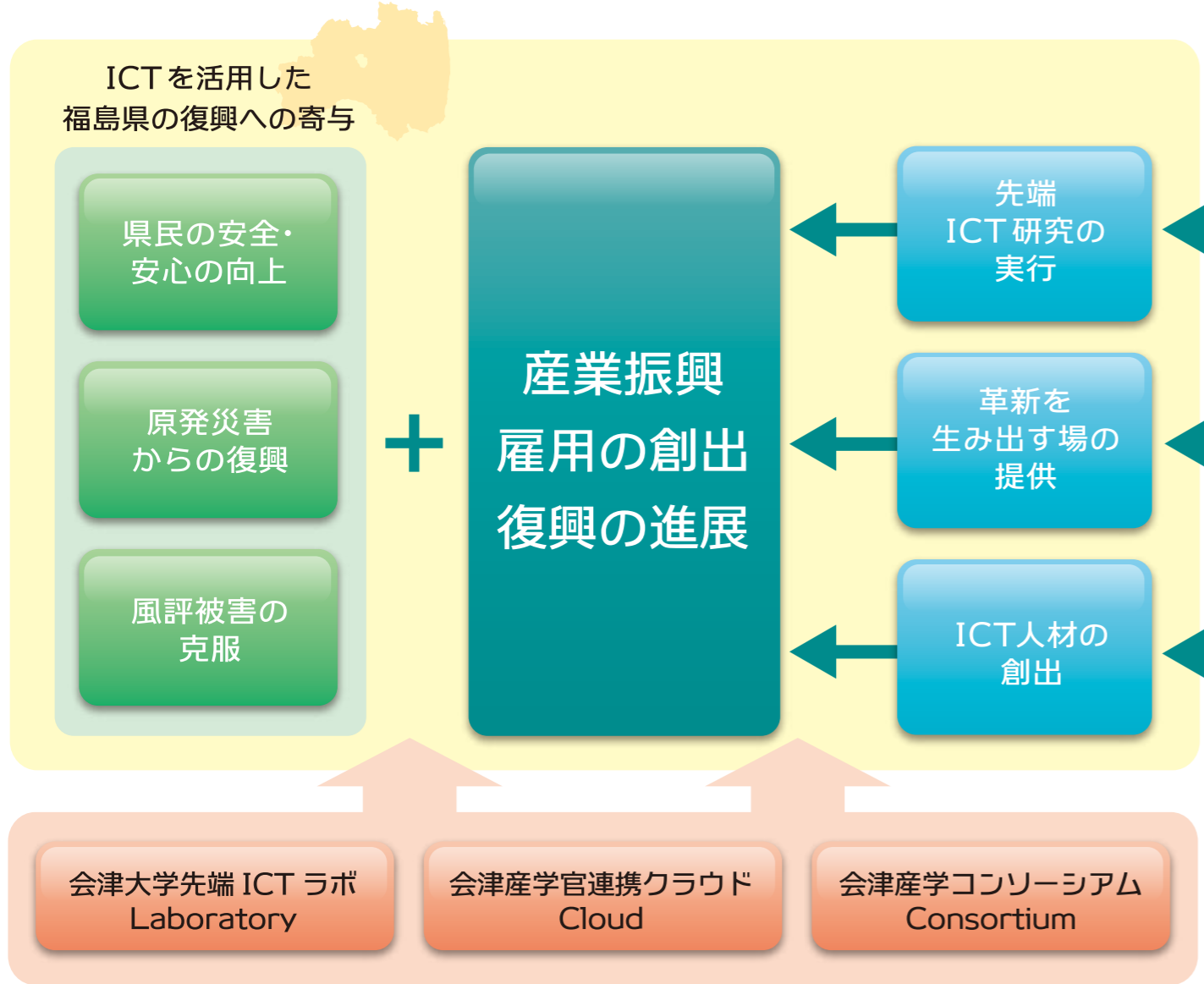
MISSION

ミッション

会津大学復興支援センターは、ICT*を活用した産業の振興、雇用の創出を通じて、東日本大震災等からの福島県の復興に貢献します。そのために先端的なICT研究を行い、新たなICT産業の創出を目指します。また、新事業立上げに適した研究環境を整備し、ICT企業の集積を目指します。同時に、産業創出や企業集積を担うICT人材の育成を進めます。

さらに、福島県特有の課題である、「県民の安全・安心の向上」、「原発災害からの復興」、「風評被害の克服」等にも取り組んでいきます。

*ICT=Information Communication Technology(情報通信技術)情報や通信に関する技術全般を指す。



RESEARCH (先端ICT研究事業)



先端ICT研究事業

民間企業が持つニーズと、大学が持つシーズを掛け合わせ、新産業・革新的事業創出の端緒を生み出すことを目的としています。

各研究プロジェクトは、原則として国や自治体による産学官・産学研究事業や民間企業の資金を獲得し、将来の事業化を目指した最先端ICT研究やプロトタイプ研究を行います。

例えば、今後拡大が期待されるスマートシティにおけるエネルギー管理技術の開発や、車載セキュリティ技術の開発、センサー等を用いて道路や橋などの社会インフラの老朽化を自動で診断する技術の開発などが予定されています。

INNOVATION (イノベーション・フィールド事業)



イノベーション・フィールド事業

公共性や新規性が高いICT企業を集積し、その活動を支援するため、事業開発やパイロット展開に必要な場を提供することを目的としています。主な提供サービスとしては、クラウドコンピューティングやデータセンターサービス、イノベーション創出に適した研究環境スペースがあります。

特に、イノベーション創出のきっかけを生み出すため、研究者や先端的な企業、学生、ベンチャー企業などの幅広い人々が自由に集い、意見交換できるスペースを設けます。また、カーナビ等車載機やPCやモバイル、さらにはスマート家電などの幅広いデバイスに対応できるセキュリティウォールームを設けます。

MANAGEMENT (イノベーション・マネジメント・スクール事業)



イノベーション・マネジメント・スクール事業

福島県の産業振興を担うICT人材の育成を目的としています。

そのために、大学での講義を補完する実践的なプログラムや限定した受講対象に合わせた的確なプログラムを提供します。会津大学復興支援センター自身による企画プログラムに加え、民間企業等による人材育成事業に対してファシリティを提供することで、プログラムの幅を広げ、質の向上を図ります。

例えば、提携企業による最先端の研究内容を扱うプログラムや、市民を対象にしたICT技術習得のためのプログラム、全国の企業を対象に一定期間合宿形式で最先端の内容を研修するプログラムなどが考えられています。

Topic | 経済効果

会津大学復興支援センターで実施される先端ICT研究事業では、事業化を目指した研究開発を行います。これらの研究が事業化した場合の経済効果として、最先端ICT技術を用いて分析や開発を行う高度な技術者の雇用が創出されます。具体的には、会津大学復興支援センターの運営開始5年後の段階で、累計約500名の

新規雇用を福島県内で創出することを目指しています。この人数は、会津地域の工業団地にある大規模な事業所の従業員数に相当します。

また、現在、会津大学発ベンチャーを中心とするソフトウェア産業が全体で300人から400人規模の雇用であり、それと同等以上に産業規模が拡大することになります。



LABORATORY

会津大学先端ICTラボ、イノベーション創出に向けて

プロジェクトスペース

産学連携での研究事業に対し、円滑なプロジェクト推進のために、事業の規模に応じた、適切なセキュリティを備え独立したワーキング環境を提供します。

- 国・県・民間などの資金を獲得した研究事業
- 産学連携イノベーション促進事業
- IT融合による産業創出のための研究開発事業



イノベーション創出スペース

研究者や学生の他、企業やベンチャーなどの多種多様な人々が自由に交流できるオープンソーシャルな環境を提供します。異業種の人々が集まり自由に交流することで、新しいビジネスや研究のアイデアが創出される場となるような環境を目指します。

- 起業を目指す学生
- ベンチャー企業
- 研究事業に参画する企業
- 復興に関連した展示
- 大学紹介のための展示



会津大学先端ICTラボ（イメージ）



先端テスト環境スペース

スマートフォンやスマートメーターなどのICTデバイスに関する研究事業等に対し、専門設備を備えた先進的なテストに適した環境を提供します。

- スマートフォンテストセンター

データセンタースペース

先端ICT研究事業や人材育成事業などに対し、クラウドを利用した共通のICTリソースサービスを提供します。また、特定の研究事業などに特化したICT機器を設置するためのラックや電源などのデータセンター環境を提供します。

- 各事業、ベンチャー企業等へのクラウドサービスおよびデータセンタースペースの提供



ラーニングスペース

次世代ICT人材育成のための教育コンテンツの開発、外部講師を招いた講座や研修の実施などの各種教育サービスを提供します。

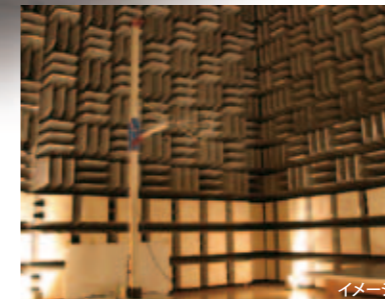
- IT日新館
- 提携企業による「冠講座」
- 企業グローバル人材育成
- 国際会議・復興関連セミナー



セキュリティウォールーム

先端ICT研究事業や他の研究機関、企業等に対し、セキュリティ分野に特化した事業や研究等を行うための電波シールドなど専門のセキュリティ設備を備えた環境を提供します。

- 国・県・民間などの資金を獲得した研究事業（カーナビ車載器セキュリティ研究事業等）
- 研究機関、民間企業への貸出



画像提供：福島県ハイテクプラザ

Topic | 大学発ベンチャー

会津大学発ベンチャーの数は25に上り、公立大学としては全国1位です（2007年経済産業省調べ）。

また、会津大学には、ベンチャー支援の制度として「大学発ベンチャー認定制度」があります。認定ベンチャーは、大学から様々な情報の提供、大学ホームページを通じたPR、大学との共催事業の開催などの支援を受けることができます。

会津大学発ベンチャーを中心とするソフトウェア産業は、

会津若松市の伝統産業である味噌・醤油製造業と同等規模に育ちつつあり、全体で300人から400人規模の雇用を創出しています。

復興支援センターが実施する研究事業の中でも、先端技術を活用したアプリケーションの開発や新たな技術革新などの分野で、会津大学発ベンチャーの役割が大いに期待されています。

Topic | カーナビ等の車載機セキュリティ

「車載機セキュリティ」とは、自動車内のネットワーク上に生じる脅威を防ぐためのシステムです。

2010年、アメリカの研究論文が世界に驚きを与えました。実験の結果、自動車を制御する車載システムにネットワークを利用して攻撃を仕掛ければ、運転手の操作を無視してブレーキをかけたリエンジンや停止させたりすることが可能になるというものです。自動車の安全に深刻な影響を及

ぼしかねません。

そのような事態を防ぐために、車載機セキュリティの研究が行われています。研究においては、実際に自動車内ネットワークに有害な情報を含む電波を発して効果を検証します。その際、実験に用いる電波が実験室外に漏れて被害が発生することを防止しなければなりません。そこで、電波を遮蔽できるウォールームを利用して実験が行われます。

CLOUD

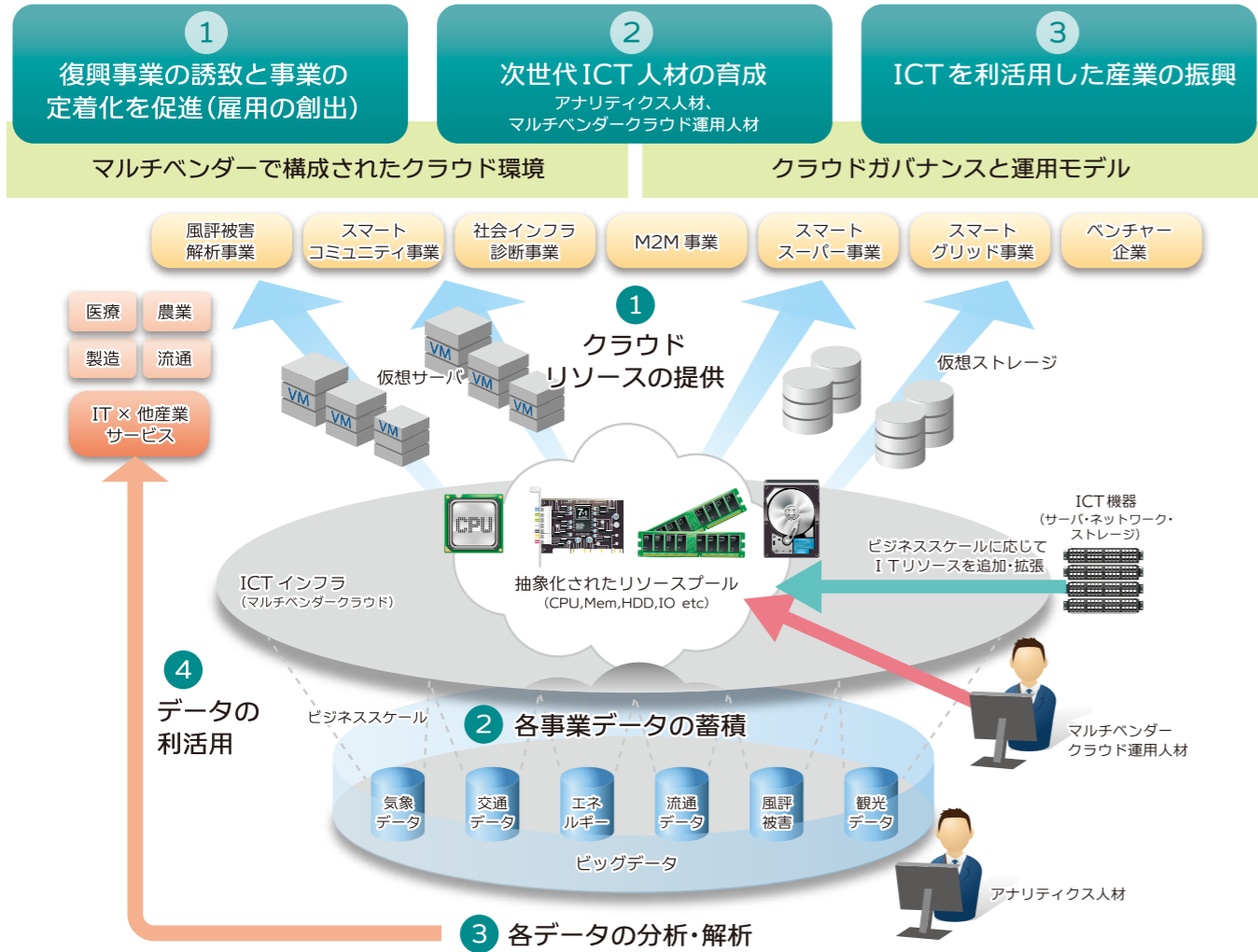
会津産学官連携クラウド

会津大学復興支援センターでは、ミッション実現へ向けたICT事業の誘致とICT人材育成のための基盤として「会津産学官連携クラウド」を構築します。

先端ICT研究プロジェクトや地元ITベンチャー企業等が利用可能なIaaSサービスを提供します。また、クラウド運営を通じた

次世代ICT人材の育成や、各研究事業から得られたデータを活用した産業振興にも寄与することを目指します。

また、公的な機関が運営するクラウドとして、各種研究事業の獲得、県民の安全・安心の確保などの観点から非常に訴求力が高いものになります。



CONSORTIUM

会津産学コンソーシアム

会津産学コンソーシアムは、会津大学復興支援センターにとってベース基地のような役割を担います。会員企業と連携して先端ICT研究事業を生み出し、会員企業に対して、生み出した事業への参加を促します。

最大の特徴は、コンソーシアムが開催するAOI会議です。この会議において、研究者と会員企業が早い段階から意見交換することにより、研究者はニーズを意識した研究を行い、企業はシーズを念頭に派生ニーズを生み出すことができます。

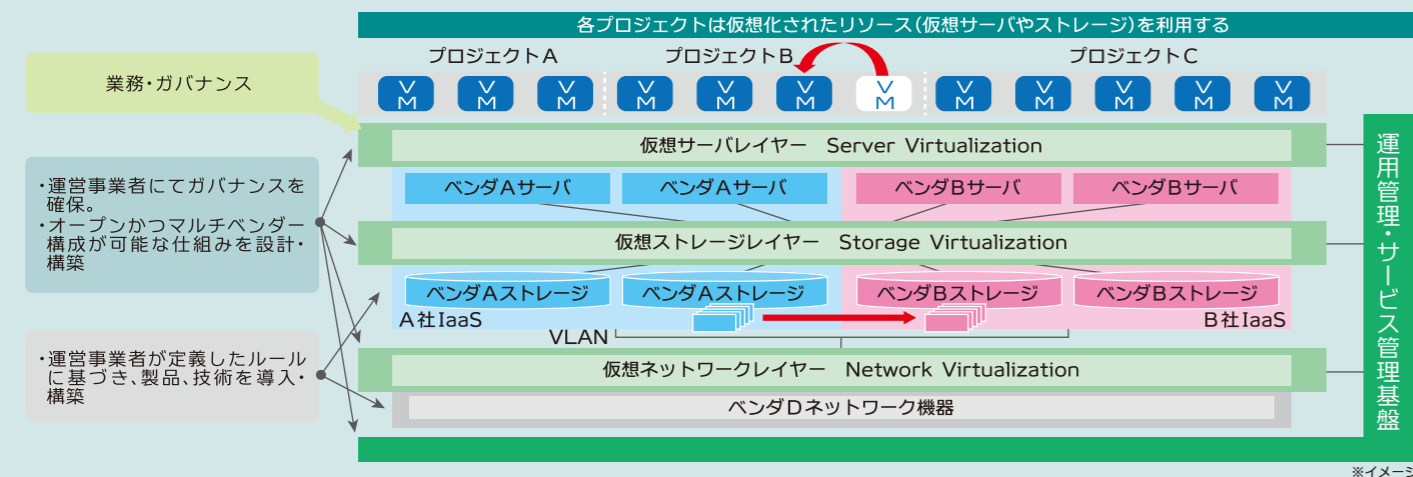


SCHEDULE

整備スケジュール

	会津大学先端ICTラボ全体整備スケジュール									
	平成25年(2013)				平成26年(2014)				平成27年(2015)	
	3月	4月~6月	7月~9月	10月~12月	1月~3月	4月~6月	7月~9月	10月~12月	1月~3月	4月~6月
復興支援センター運営					運営					
建築・設備		調査・設計		建築準備		施工				稼働
クラウド		設計・構築				暫定運用				稼働

Topic | 会津産学官連携クラウドの概要



クラウドの特徴

会津産学官連携クラウドの特徴は、マルチベンダーによる仮想化基盤環境と統合運用基盤環境です。

サーバ及びストレージ層を仮想化技術により抽象化し、特定の製品に依存しない柔軟性の高い基盤環境と運用の仕組みの構築を行います。これにより、多様な事業ニーズに対応し、長期に渡り復興事業を支える持続可能な基盤環境を提供します。

